

第66期 中間報告書

2012年4月1日～2012年9月30日



韓国の「ロッテモール金浦空港」では、エスカレータと動く歩道が活躍しています。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第66期第2四半期（2012年4月1日～2012年9月30日）の連結業績の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期における世界経済の状況は、米国の緩やかな景気回復があったものの、これまで世界経済をけん引してきたアジアの新興国経済の景気減速と、長引く欧州内の債務危機による問題も重なり、全体的には減速傾向が進行しました。一方、日本経済は復興需要などを背景に緩やかな回復が続きましたが、長引く円高と世界経済の減速から停滞感が見られました。

昇降機業界におきましては中国の需要が堅調に推移しましたが、その他のアジアや北米では足踏み状態が続き、欧州では低調に推移しました。日本では、近畿圏を中心としたマンション着工が増加するなど、一部で需要の回復がありました。

このような情勢の下、国内市場では、低コスト・短工期で既設エレベータの快適性・安全性を高めるモダニゼーション事業が順調に拡大しますとともに、新設事業では主力エレベータの受注が伸長しました。これにより、国内受注高は、270億8百万円（前年同四半期比15.1%増）となりました。

一方、グローバル市場では、中国におけるエレベータ新設工事が大幅に増加したことから、海外受注高は363億41百万円（同25.2%増）となりました。この結果、受注高合計は633億49百万円（同20.7%増）となりました。

売上高は、国内売上高224億72百万円（同1.5%増）、海外売上高312億42百万円（同17.6%増）となり、合計537億15百万円（同10.3%増）となりました。

損益面では、日本や東アジアでの増益に加え、北米での損益

改善が進んだことから、営業利益は36億28百万円(同74.0%増)、経常利益は37億43百万円(同81.1%増)となりました。特別損益の純額は、投資有価証券評価損などから72百万円の損失となり、税引き後の四半期純利益は、19億77百万円(同91.7%増)となりました。当期の中間配当金につきましては、期初の計画どおり1株当たり6円とさせていただきました。



本年度は、中期経営計画“One Goal, One Fujitec”の最終年度となっており、現在、全社挙げて経営目標必達に向けて取り組んでおります。次年度からは新たな中期経営計画がスタートしますが、さらなる飛躍を図るためにも、グローバル市場では中国を中心とするアジアでのなお一層の拡販に努めますとともに、日本では拡大するリニューアル市場に向けた販売力の一層の強化を推し進めてまいります。

当社は、来年2月に「創業65周年」の節目の年を迎えますが、これを機に、新たな企業価値の創造と大いなる躍進を目指してまいります。株主の皆様には、より一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2012年11月

代表取締役社長 内山 高一

主な活動概況

日本 *Japan*

東京では、総合文化施設“東京芸術劇場”が今年9月に全面リニューアルしました。ここでは新たに設置した大型エレベータを含む計10台が納められています。

オフィス・商業施設・住宅から成る日本橋の複合施設「(仮称)室町東地区開発計画2-3街区」向けに、エレベータ8台とエスカレータ7台の計15台を受注しました。併せて、複合施設内に入る日本橋初のシネマコンプレックスへもエレベータとエスカレータ計5台を納めます。

大阪では大阪駅前の百貨店“阪急うめだ本店”が、今年10月にリニューアルオープンし、展望用4台を含むエレベータ9台を納入しました。

京都ではホテル「(仮称)京都鴨川二条ホテル」向けにエレベータ9台を受注しました。

このほか、“JR岡山駅西口ビル”にエレベータとエスカレータ計9台を納入し、利用者のスムーズで快適な移動をサポートしています。今後も引き続き、新設・リニューアル需要に対応した積極的な営業活動を展開します。



東京芸術劇場(東京)

■ 北南米 *North & South America*

米国では東部の都市フィラデルフィアに建つ小児科病院“チルドレンズ・ホスピタル”の増設工事に伴い、エレベータ21台を受注しました。カナダではバンクーバーで屈指の高さを誇る高層マンション“テルス・ガーデン”向けに高速エレベータとエスカレータ計9台を受注するなど、活発な営業活動を展開しています。



チルドレンズ・ホスピタル(アメリカ)

■ 東アジア *East Asia*

世界で最も昇降機の需要が拡大しているのが東アジアです。その中で最大の市場規模を誇る中国では、西南地域最大の都市・重慶市の大型商業施設“星光時代広場”に、エスカレータと動く歩道計65台を納入しました。同施設は、今年6月にオープンし、重慶市の新しいランドマークとして連日賑わっています。



星光時代広場(中国)

このほか、北京市の大型複合ビル“望京SOHO”向けにエレベータとエスカレータ計142台を受注しました。

韓国では、大型複合商業施設“ロッテモール金浦空港”にエスカレータと動く歩道計72台を納入し、来場者の足として活躍しています。

同じく韓国では、スウォン市内の駅に隣接して建つ複合商業施設“ロッテモール・スウォン・ステーション”向けにエスカレータと動く歩道計78台を受

注。韓国国内では複合商業施設へのニーズが年々高まっていることから、今後ますますの需要拡大に期待がかかります。

そのほか、香港ではチンイー港地区の大型物流施設向けにエレベータ22台を納入。さらに、“センチュリー・ゲートウェイ”向けにエレベータとエスカレータ計46台を受注しました。台湾では“国泰台南建興段”にエレベータとエスカレータ計43台の納入が決まりました。



ロッテモール金浦空港(韓国)

■ 南アジア *South Asia*

フジテック・シンガポールは、今年8月に「創業40周年」を迎えました。シンガポールにおいて、これまで20,000台超のエレベータをHDB(シンガポール住宅開発局)から受注しているほか、複合商業施設“スコッツ・スクエア”にはエレベータとエスカレータ計31台を納入しました。

経済規模の拡大により、目覚ましい発展を続けるインドにおいては、バンガロールに建つ高級マンション“キング・フィッシャー・タワー”にエレベータ15台、“プレステージ・トランクイリティ”向けに49台のエレベータを受注しました。

今後も需要の高まる市場へ向け、活動の場を広げていきます。



スコッツ・スクエア(シンガポール)

■ 欧州・中東 *Europe & Middle East*

サウジアラビアの主要都市ジェッダでは、オフィスやショッピングモールを含む複合施設“ジャミール・スクエア”に、エレベータ6台を納入しました。同施設は、幹線道路にも近く、ビジネス上で最適な条件を整えています。

このほか、ドイツのベルリンでは、“ベルリン国立歌劇場”の大改装



ジャミール・スクエア(サウジアラビア)

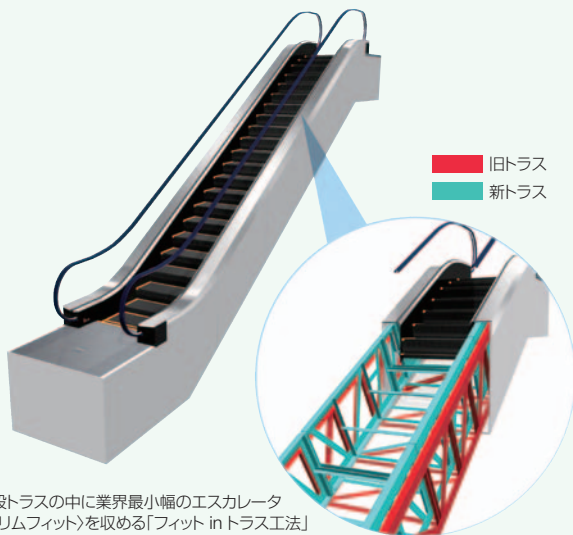
に伴い、エレベータ9台を受注しています。さらに欧州においては、今後、エレベータ・エスカレータの更新需要もあり、リニューアル事業の成長が期待されます。

リニューアル市場に新メニュー登場 「フィット in トラス工法」を採用した エスカレータ・リニューアル

“安全・安心”の向上や防災対策への志向の高まりに伴い、エレベータ・エスカレータのリニューアル市場が拡大しています。フジテックはこうしたニーズに合わせ、新たなリニューアル商品の販売と提案を強化しています。

エスカレータ向けには今年10月から、独自に開発したリニューアル新工法「フィット in トラス工法」を採用した、リニューアルメニューの販売を開始。新工法は既設エスカレータの躯体をそのまま利用し、躯体内に当社の業界最小幅のエスカレータ〈スリムフィット〉を、そのまま収めるというものです。

エレベータ向けには、今年7月から販売を開始した「安全向上パッケージ」にお客様からの関心が集まっています。商品は戸開走行保護装置、P波センサー付地震時管制運転装置に加え、耐震補強の3つをパッケージにしたもので、国の補助金の対象となっています。



既設トラスの中に業界最小幅のエスカレータ〈スリムフィット〉を収める「フィット in トラス工法」

技術向上と確かな信頼目指し、 「保守技能競技大会」を開催



大会では日々の業務で培った技能を存分に発揮

点検・メンテナンス業務の技能向上を図る取り組みとして、フジテックは今年10月25日と26日の2日間、アフターマーケット拠点“ビッグフィット”（大阪府茨木市）で、「第6回全国保守技能競技大会」を開催しました。

競技種目は筆記、メンテナンス実技、お客様を想定した面接など多様です。全国から予選を勝ち抜いたフィールド技術部員が集まり、日頃の業務で培った技術・能力を最大限に発揮しました。

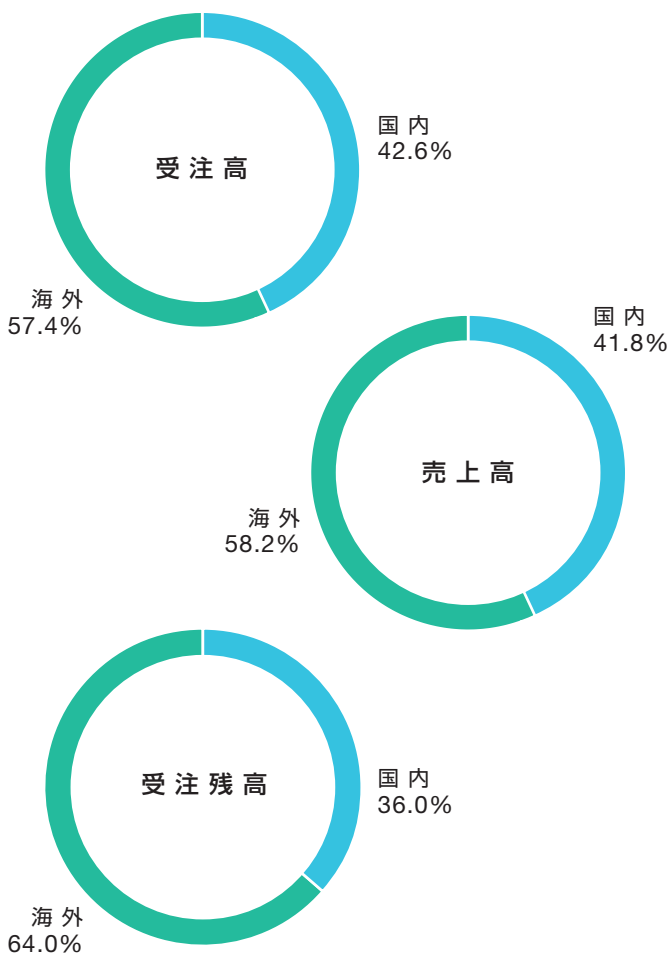
フジテックではこのような機会を通して、技術者同士の交流も行い、より高い技術ノウハウの共有に加え、ベテランから若手への技術伝承による、人材の質の向上も図っています。

連結業績の概要 (2012年4月1日～2012年9月30日)

営業の状況

			受注高	売上高	受注残高
国内	百万円		27,008	22,472	38,968
海外	百万円		36,341	31,242	69,152
合計	百万円		63,349	53,715	108,121

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。



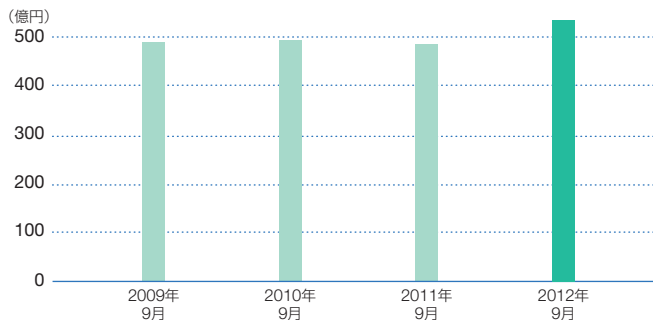
Financial Results

業績の推移

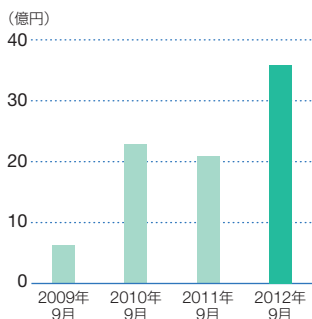
		当第2四半期 2012年9月	前第2四半期 2011年9月	前期 2012年3月
売上高	百万円	53,715	48,717	105,061
営業利益	百万円	3,628	2,085	5,363
経常利益	百万円	3,743	2,066	5,799
四半期純利益 または当期純利益	百万円	1,977	1,031	2,607
1株当たり四半期純利益 または当期純利益	円	21.14	11.02	27.86
総資産	百万円	110,479	107,807	107,213
純資産	百万円	70,013	67,495	67,915
1株当たり純資産	円	693.02	673.18	674.78
研究開発費	百万円	839	810	1,970
設備投資	百万円	653	664	1,354

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

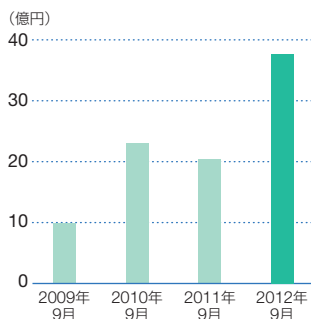
売上高



営業利益



経常利益



■ 連結貸借対照表

(2012年9月30日現在)

資産の部		負債の部	
	金額(百万円)		金額(百万円)
流動資産	69,700	流動負債	34,448
現金及び預金	28,709	支払手形及び買掛金	11,952
受取手形及び売掛金	25,884	短期借入金	477
商品及び製品	2,959	1年内返済予定の長期借入金	227
仕掛品	2,944	未払法人税等	753
原材料及び貯蔵品	5,541	賞与引当金	1,682
その他	4,317	工事損失引当金	2,930
貸倒引当金	△ 657	その他の引当金	376
		前受金	11,777
		その他	4,269
固定資産	40,778	固定負債	6,017
有形固定資産	28,379	長期借入金	1,267
建物及び構築物	17,410	退職給付引当金	4,476
機械装置及び運搬具	2,158	その他	273
工具、器具及び備品	1,451	負債合計	40,465
土地	6,809		
リース資産	6	純資産の部	金額(百万円)
建設仮勘定	542	株主資本	85,519
無形固定資産	2,501	資本金	12,533
のれん	666	資本剰余金	14,565
その他	1,835	利益剰余金	58,551
投資その他の資産	9,897	自己株式	△ 131
投資有価証券	3,724	その他の包括利益累計額	△ 20,674
長期貸付金	1,914	その他有価証券評価差額金	128
その他	4,403	為替換算調整勘定	△ 20,803
貸倒引当金	△ 145	少数株主持分	5,168
資産合計	110,479	純資産合計	70,013
		負債純資産合計	110,479

(注) 1. 当第2四半期の連結子会社は、18社であり、持分法適用会社はありません。
2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

Financial Results

■ 連結損益計算書

(2012年4月1日～2012年9月30日)

金額(百万円)

売上高	53,715
売上原価	41,795
販売費及び一般管理費	8,291
営業利益	3,628
営業外収益	329
営業外費用	214
経常利益	3,743
特別利益	1
特別損失	73
税金等調整前四半期純利益	3,670
法人税、住民税及び事業税	801
法人税等調整額	368
少数株主損益調整前四半期純利益	2,500
少数株主利益	522
四半期純利益	1,977

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(2012年4月1日～2012年9月30日)

金額(百万円)

営業活動によるキャッシュ・フロー	5,662
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,455
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,300
現金及び現金同等物に係る換算差額	254
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,072
現金及び現金同等物の期首残高	9,718
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,790

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

■ 会社の概況

設 立 1948年2月9日

資 本 金 125億3,393万円 (2012年9月30日現在)

■ フジテック・グループ

日 本	本 社	滋賀県彦根市 ビッグウイング	TEL(0749)30-7111
	東京本社	東京都港区三田3丁目9-6	TEL(03)4330-8200
北 米	アメリカ	FUJITEC AMERICA, INC.	
	カナダ	FUJITEC CANADA, INC.	
	グアム	FUJITEC PACIFIC, INC.	
南 米	ベネズエラ	FUJITEC VENEZUELA C.A.	
	アルゼンチン	FUJITEC ARGENTINA S.A.	
	ウルグアイ	FUJITEC URUGUAY S.A.	
欧 州	ドイツ	FUJITEC DEUTSCHLAND GmbH	
	イギリス	FUJITEC UK LTD.	
中 東	サウジアラビア	FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD.	
	エジプト	FUJITEC EGYPT CO., LTD.	
	アラブ首長国連邦	FUJITEC UAE	
南アジア	シンガポール	FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD.	
	フィリピン	FUJITEC, INC.	
	マレーシア	FUJITEC (MALAYSIA) SDN. BHD.	
	インドネシア	P.T. FUJITEC INDONESIA	
	インド	FUJITEC INDIA PRIVATE LTD.	
	ベトナム	FUJITEC VIETNAM CO., LTD.	
	タイ	FUJITEC (THAILAND) CO., LTD.	
東アジア	ホンコン	FUJITEC (HK) CO., LTD.	
	台湾	富士達股份有限公司	
	コリア	FUJITEC KOREA CO., LTD.	
	中 国	華昇富士達電梯有限公司	
		上海華昇富士達扶梯有限公司	
		富士達電梯配件(上海)有限公司	
		上海富士達電梯研発有限公司	

役員

取締役

代表取締役社長	内山 高一	取締役	白倉 三徳
代表取締役副社長	関口 岩太郎	取締役	花川 泰雄
取締役	ナラヤナピレー・スグマラン	取締役	稲葉 和夫
取締役	岡田 隆夫		

監査役

常勤監査役	野木 正彦	監査役	中野 正信
常勤監査役	北川 由雄	監査役	佐伯 照道

執行役員

執行役員社長	内山 高一*	執行役員	多川 正弘
執行役員副社長	関口 岩太郎*	執行役員	原田 政佳
専務執行役員	ナラヤナピレー・スグマラン*	執行役員	内山 泰行
専務執行役員	岡田 隆夫*	執行役員	筒井 邦彦
常務執行役員	津山 圭二	執行役員	坂本 晴彦
常務執行役員	奥田 勝次	執行役員	加藤 義一
執行役員	梶田 順司	執行役員	宇都宮 靖雄
執行役員	井上 治男	執行役員	浅野 隆史
		執行役員	伊豆原 久男

*は兼務しています。

株式の状況

発行済株式の総数	93,767,317株
株主数	3,481名
上場証券取引所	東京証券取引所

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1. シティグループ グローバル マーケッツ インク - セキュリティーズ セーフキーピング アカウト418	14,212	15.18
2. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	10,025	10.71
3. 富士電機株式会社	5,089	5.43
4. エムエルピーエフエス カストディー アカウト	4,548	4.86
5. 株式会社りそな銀行	4,203	4.49
6. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,563	3.80
7. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,137	3.35
8. メロンバンク トリーティー クライアンツ オムニバス	2,150	2.29
9. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,140	2.28
10. 株式会社みずほコーポレート銀行	1,989	2.12

(注) 持株比率は2012年9月30日現在の発行済株式総数である93,767,317株から自己株式199,013株を除いた93,568,304株を基準に計算しています。

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
公告方法	電子公告により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載することといたします。 ホームページアドレス： http://www.fujitec.co.jp/koukoku/
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内1丁目4-1 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜4丁目5-33 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。

確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度、「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

フジテック株式会社

www.fujitec.com